

# 令和3年度4年生

## 昨年度の授業改善プランについての成果と課題

- 国語**⇒週に一度日記を書く活動を入れ、書くことは少しずつ慣れてきたが、字を雑に書いたり、既習した漢字を使わないで文を書いたりする児童がまだ多い。大切なことを落とさずに聞けない児童が多い。
- 社会**⇒教科書の資料を比べて読み取る学習を取り入れ、資料の読み方を少しずつ理解してきたが、テストになると読み取りきれない児童がいる。
- 算数**⇒百マス計算を授業の始めに行うことで、既習事項であるかけ算九九の再定着を図れた。コンパスを使った作図が課題である。かけ算の筆算などの基礎的な内容に課題のある児童がいる。基礎基本の学習の繰り返し学習が必要である。
- 理科**⇒実験や観察を生かし、主体的に学習に取り組むことができた。学習した内容の基礎的・基本的な知識を確実に身に付けることができた。

### I 大田区学習効果測定の結果と概要

△：正答率の平均が目標値を上回った教科・観点

≡：正答率の平均が目標値と同程度の教科・観点

▼：正答率の平均が目標値を下回った教科・観点

教科	国語			社会			算数			理科		
全体	△			△			△			△		
観点別	△	△	▼	△	▼	△	△	△	△	≡	△	△
	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	知識・理解	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度

#### 1 教科全体

4教科全て目標値を上回っている。国語、算数、理科の校内平均正答率は、前年度よりも数値が上回っていて、更に定着が見られた。

#### 2 観点別

国語「主体的に学習に取り組む態度」の観点と、社会「思考・判断・表現」の観点が、目標値を下回った。社会の「思考・判断・表現」は目標値同程度、その他の観点と算数の全ての観点は目標値を上回った。

### II 教科ごとの授業改善プラン

#### 1 国語・社会・算数・理科

##### 【国語】

- 文章を書く能力を高めるために、自分の考えを書く活動を取り入れる。読み物教材の学習では、初発と最終に感想文を書く活動を入れたり、テーマを挙げた作文を書く活動を入れたりする。

##### 【社会】

- 資料から必要な情報を読み取る能力を高めるために、教科書の資料などを読み取る学習を取り入れる。
- 調べたことや分かったことから、自分の考えを表現する機会を設け、友達の意見を取り入れる機会を作り、理解を深めるようにしていく。

##### 【算数】

- 授業展開をクラス数（3）＋2展開＝計5展開にして、習熟度別にしたことで児童の実態に即した効果的な授業を行っていく。また、わり算の筆算のような今までの積み重ねを頭の中で行う（立てる・下ろす・掛ける・引く）計算では、習熟度によって理解に偏りがあるので、休み時間や補習教室においてサポートしていく。

##### 【理科】

- 実験したり観察したりする場면을重視し、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。
- 生活経験を基に予想を立てたり、実験結果から分かることを考えたりする機会を設けていく。予想を立てる際に、なぜそのような予想を立てたのか理由まで考えさせるようにする。

2 音楽・図工・体育

	児童の実態		授業改善プラン
音楽	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知識・技能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい音程で歌ったり、正しい運指でリコーダーの練習をしたりすることができる児童が増えてきた。しかし、正しい運指ができない児童も数名いる。</li> </ul> </li> <li>●思考・判断・表現                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の雰囲気を感じとり、楽しみながら歌ったり演奏したりすることができる児童が多い。</li> </ul> </li> <li>●主体的に学習に取り組む態度                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・歌唱や器楽の学習を楽しみながら活動できる児童が多い。</li> </ul> </li> </ul>	<p>○</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>○</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・机の配置を工夫し、リコーダーの指使いを授業中に個別指導する。休み時間を使い、時間をかけて指導する。</li> <li>・リコーダーの学習カードを用いて、児童が目標を設定し練習ができるようにする。</li> </ul>
図工	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知識・技能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい道具の使い方や技法を知り、正しく使おうとしている。</li> </ul> </li> <li>●思考・判断・表現                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の思いをもち、作品作りにとりくむ児童が多い。</li> <li>・友だちの作品のよいところを見つけ、自分との違いに気付き、自分に取り入れようとする児童が多い。</li> </ul> </li> <li>●主体的に学習に取り組む態度                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵や立体に表すことに興味をもち、根気強く取り組む児童が多い。一方、集中力が持続できない児童もいる。</li> </ul> </li> </ul>	<p>○</p> <p>○</p> <p>△</p> <p>○</p> <p>△</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の意向を尊重しながら、よりよい作品となるように、一緒に作ったり描いたりなどの個人指導を行う。</li> </ul>
体育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●知識・技能                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・マット運動、鉄棒運動に課題がある。特に、回ることへの不安があり、自分の身体を支持できない。</li> </ul> </li> <li>●思考・判断・表現                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームの領域において、運動の特徴に合った攻め方やルールを考えたり、作戦を立てたりすることができる。</li> </ul> </li> <li>●主体的に学習に取り組む態度                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな運動にも興味をもって取り組む児童が多い。過去の経験から不得意だと感じている児童は、取り組む前から諦めている傾向がある。</li> </ul> </li> </ul>	<p>△</p> <p>○</p> <p>△</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不安がある児童については、教員が補助に入ったり、他の教員にも補助に入ってもらったりして、複数の目でみていく。</li> <li>・家庭においても、身体操作を向上させる運動を行うなど運動の日常化を促す。</li> <li>・クラスの実態に応じてルールを変更したり、作戦を立て直したりする機会を設ける。</li> <li>・学習カードに技能ポイントを示し、自分のめあてを意識して活動できるようにすることで、意欲を継続できるようにする。教員も励ましのコメントを伝えたり、カードに記述したりする。</li> </ul>